

各種地図調整・印刷／地理情報システム
立体地図・地図検索・地図パネル・地図掛け軸
オンデマンドデジタル印刷・大判ポスター出力

株式会社アルプス出版社
〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目15番18号
オフィスサンタゴヤ6F
TEL052-931-1009 FAX052-932-1312
<http://www.alpspublishing.co.jp/>

此紙・報名・販売・株式会社アルプス

わやわらまん

わが町、わが店、この道一筋、出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shimbunten.net> <開設日> あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町千金下37番地 電⁰⁵⁶³72-0356 営業店/萬葉市万葉町4丁目167番地 電⁰⁵⁶³25-2861

Nobuo Murakami



村上信夫

(24)

元気のでてくることばたち

はたして、二村さんは、レジスター前にいたが、ボクの顔を見ると、もう驚きもせませんわ」と、その場

にいた笑顔良しの男性を引き合わせてくれた。ボクからも、そのまま、そのことばを送りたい。

出会いとは、不思議なものだ。隆洋スター前にいなれば、ほんの少しでも、タイミングがずれていれば、一生会うこともなかつたかもしれない。人にいた笑顔良しの男性を引き合わせてくれた。ボクからも、そのまま、そのことばを送りたい。

で運ばれてくる。絶妙な間合い、具体的な事例、抑制の効いた声だから、すっと腑に落ちる。

「一回限りの人生なのだから、堂々と遠慮なく企ててほしい」と言う。自分の可能性を諦めている人は、失敗しない。なぜなら挑戦しないから。やらない後悔はないほうがいい。

練習量は裏切らない。テニスの大坂なおみ選手やゴルフの松山英樹選手たちの練習量は半端なくすごい。リッカールトンも、人に寄り添う練習おもてなしの練習、ホスピタリティの練習を三百六十五日してきた。それでも日本一になるのに5年半かかった。サービスは、「いつでもどこでも誰にでもするもの」だ。明文化、マニュアル化出来る。ホスピタリティは、「今だけここだけあなただけのもの」だ。明文化、マニュアル化出来ない。高野さんは「本気のお節介」というが、この言い方がしつくりくる。何事も「本気」で取り組まねば、相手に届かない。高野さんは、「どんな自立たないことに本気で臨む」。

高野さんは、帰宅したとき、「きょう一日ボクの体重を支えてくれて有難う」と、履いていた靴に御礼を毎日言う。玄関で靴やスリッパを摘めるのは、あたりまえのことだ。

高野さんは、飛行機を降りるとき、シートベルトを元通りにしている。こ

■村上信夫プロフィール

2001年から11年に渡り、『ラジオビタミン』や『藤田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。

現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」をしながら、文化放送『日曜はがんばらない』(毎週日曜10:00~)、月刊『清流』連載対談へときめきトークなどで、新たな境地を開いている。各地で『ことば磨き塾』主宰。

1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』(近代文藝社)『ラジオが好き!』(海竜社)など。趣味、将棋(二段)。

<http://murakaminobuo.com>

えにする。「人生の2秒の使い方で人生が輝く」と、人情こい笑顔で言われると、おおいに納得する。

高野さんは、「2020年は、変化と感動の年」と位置付ける。ゆえに、今年は、その準備を怠りなくする年にするという。

講演をしていると、「まだまだ自分の中底の浅さに気づくことが多い」ので、今年で、各地の百年塾をいつたんクローズして、自分磨きをするそうだ。その日暮らしのボクにとって、この境地には遠く及ばない。真友というには、やはりおこがましい。賢兄愚弟がお似合いだ。

講演をしていると、「まだまだ自分の中底の浅さに気づくことが多い」ので、今年で、各地の百年塾をいつたんクローズして、自分磨きをするそうだ。その日暮らしのボクにとって、この境地には遠く及ばない。真友というには、やはりおこがましい。賢兄愚弟がお似合いだ。

2秒の使い方で人生が輝く

高野登さん

てくれた。初対面のはずなのに、どこかで会つたことのあるような気がした。

人を引き付けてやまない笑顔だった。

警戒心を抱かせない笑顔だった。それ

もそのはず、至高のホスピタリティの

人だった。長年、リツツカールトンホ

テル日本支社長を務めていた高野登

さんだった。現在は、人とホスピタリ

ティ研究所所長として、全国で寺子

屋百年塾を開き、これから日本を担う人材育成に専念している。

高野さんは、同じ年だといふことが判明し、意気投合した。このあ

と、隆洋館書店の一角を借りて、大阪

寺子屋百年塾があるといふのに、レ

ジスター前で、15分くらい立ち話を

した。高野さんは、ボクのことを「本

物は穏やかで謙虚である」と評して

一方的に、真友といには、おこがましいが、高野登さんは、ボクにどうてはそんな存在だ。友だちの少なかつたボクに、この年齢にして初めて出来た真友なのだ。

何から今まで行き届いたホスピタ

リティ。さりげない心配り。批判や批評は、めったに口にしない。人のい

いところを見つけ伸ばしていく才があ

る。何をやつてもソフトでスマート。す

べて及ぼぬことばかりだが、ボクの道

標。道標と仰いでいるのに、ボクをいつ

も持ち上げて、いい気持ちにしてくれる。いつも絶大な信赖を寄せてくれる。何を話しても、聞き逃さず、程よい反応がある。だから真の友なのだ。

レジスターの出会い

出会いは、3年前の秋。空日の時間が出来たので、大阪の隆洋館書店に立ち寄ることにした。店を切り盛りする

二村知子さんを予告なしで訪ね、驚か

そうとうじう企みもあった。

高野さんは、同期年だといふこと

とが判明し、意気投合した。このあ

と、隆洋館書店の一角を借りて、大阪

寺子屋百年塾があるといふのに、レ

ジスター前で、15分くらい立ち話を

した。高野さんは、ボクのことを「本

物は穏やかで謙虚である」と評して

併画/イネ・セイミ

高野登さんの講演を「コンサートのよう」と評する人がいたが、的を得ている。心地よいことはが心地よい口調

息りなく自分磨き

は、決して遅すぎます、早すぎません、

出会いうべくして出会うものなのだろう。

は、決して遅すぎます、早すぎません、

出会いうべくして出会うものなのだろう。

は、決して遅すぎます、早すぎません、

出会いうべくして出会うものなのだろう。

は、決して遅すぎます、早すぎません、

出会いうべくして出会うものなのだろう。

は、決して遅すぎます、早すぎません、

出会いうべくして出会うものなのだろう。

は、決して遅すぎます、早すぎません、

出会いうべくして出会うものなのだろう。

フルート奏者として活動中。
併画家、作家、著者として活動中。
会員登録

インディアンフルート教室
開講している中。
併画室

あなたなら今から始められる
あなたの音楽人生

インディアンフルート教室
開講している中。
併画室

併画教室
開講している中。
併画室

好評発売中

好評発売中

好評発売中

好評発売中

私の出会った作品(32)

杉本武之

平成31年2月1日 (2)

や年も暮れ、春立てる霞
の空に、白河の關越えんと、
そぞろ神の物につきて心を
狂はせ、道祖神の招きにあ
ひて、取るもの手につかず

(平) 松尾芭翁の細道

○松尾芭翁について
日本の文学史において
最大の文学者は誰かと問
われたが、私は「しばらく
考へた後で、松尾芭翁であ
ると答えるでしょう。

然種者として、私の頭の
中で、万葉歌人の柿本人
麻呂、「櫻花物語」の集式部、
「徒然草」の兼好法師、「與
の細道」の松尾芭翁、「香齋
は猫である」の夏目漱石など
が浮かび上ります。しかし、
私自身の好みと客觀的評
価から、日本の最大の文
学者は松尾芭翁であると思
います。

芭翁は、生涯におよそ
千句の俳句を作りました。
私の好きな句を並べてみ
ます。

「秋深し曉は何をする人
ぞ」「野ざらしを心に風のし
む身かな」「山路來て何やらゆかし

「すみれ草」「草臥れて宿かる頃や藤
の花」「開さや岩にしみ入る蟬
の声」

芭翁は、数々の名句の他
に「奥の細道」や「野ざらし
紀行」などの「幻住庵記」の終
篇記や「芭翁が移す跡」な
どの俳文を書きました。どう
も傑作です。

ここで、芭翁が自分の生
涯を翻みて心情を吐露し
た「幻住庵記」の終わりの
部分を読んでみましょう。
こういふのを名文と言うの
だと思します。

「……かくいへばとて
ひたぶるに開放を好み、山
野に跡を隠さむにはあ
らず。やや病身、人に懐で、
世を厭ひし人に似たり。つ
らうら年月の移りこし過ぎ
身の科を思ふに、ある時は
仕官懸命の地をうらやみ

「たびは旅祖室の扉に入
らむとほしも、たりなき
風塵に身をせぬ、花鳥に情
を労して、暫く生涯のはか
り事とせばなれば、終に無
能無才にして此の一筋につ
ながる」

ついづくと、豊かな自分の
俳諧といつ一緒に繋がり、
過去の多い過去を回想す
ると、ある時は生者に仕え
て佛様を貰える身分を換
えし、働く感覚にな
ましく思つたし、またある
時は仏門に入つて僧侶にな
ました。

○「奥の細道」



芭翁の句碑(關念寺)

うとう無能無才のまま、こ
の俳諧といつ一緒に繋がり、
そこから離れられなくなつ
てしまつたのです。

芭翁の代表作は「奥の細
道」です。有名な夏目漱石の部
分は、中学の国語の教科書
に載つています。また高
校の古文の授業で詳しく
教えてもらいました。何度
も何度も読みましたので、す
かり暗記してしまい、今で
もすらすら暗唱できます。

芭翁は、旅から戻つてか
からといって、ひたすら開
寂を好み、山や野に隠れて
しまおうといふのではあり
ません。少し病身のことと
もあり、人との付き合いが
煩わしくて、世間から離れ

いた章——月日は永遠の
旅人であり、來ては去
り、去つては来る年も、ま
た旅人である。舟の上で
生涯を過ごす船頭も、馬
を引いて老いを迎える馬
子も、その日その日が旅
であり、旅を極としている
風塵に生きた古人も

旅の途中で死んだ人が多
い。私も、いつの年から
かちぎれ舞を吹き飛ば
し、風塵を極めて歩く漂泊
の思いが止まず、海浜地
方をさまよい歩いて来た。

去年の秋、墨田川の辺の
破れ小屋である芭翁庵に
かかせて歩く漂泊の想
いが止まず、海浜地
方をさまよい歩いて来
た。芭翁は旅がら戻つてか
からといって、ひたすら開
寂を好み、山や野に隠れて
しまおうといふのではあり
ません。少し病身のことと
もあり、人との付き合いが
煩わしくて、世間から離れ

北陸を経て、8月下旬、美
濃大垣に着きました。そし
て、9月6日に伊勢の墨吉
を拝もうと大垣から舟に

乗りました。全行程は600
里、所要日数は5カ月半に
及ぶ。命を懸けた長い旅で
した。

芭翁は、旅がら戻つてか
からといって、ひたすら開
寂を好み、山や野に隠れて
しまおうといふのではあり
ません。少し病身のことと
もあり、人との付き合いが
煩わしくて、世間から離れ

す。——旅といふ者は、この道
に好けるものほどのぼの開
いて、世に知る人もほゞり
しに、古車の冬(早世)した
時に、「塔を動け我が泣く
声は秋の風」

田辺順子の「おくのほそ
道を旅しよう」(角川ソフィ
ア文庫)は、実際に美しい本
です。この本と同じ文庫
の新版・おくのほそ道を
参考にして、私なりに解説
します。

芭翁は、7月5日(今)
の墨吉兵衛の所に宿を取り
た。そして、金沢に来たら
は金沢に着くと、同行し
た曾良の日記によれば、京
花山と優利伽羅峰を超
えて、金沢に到着した。芭翁
は金沢に着くと、同行し
た曾良の日記によれば、京
花山と優利伽羅峰を超
えて、左には、「塔を動け」の句
碑が立っています。

元禄2年(1689)3月
27日(現今陽曆5月5日)

芭翁は門人の曾良と
共に江戸深川を出発しま
した。奥州各地を行脚し、

(平) 松尾芭翁の細道
○松尾芭翁について
日本の文学史において
最大の文学者は誰かと問
われたが、私は「しばらく
考へた後で、松尾芭翁であ
ると答えるでしょう。

然種者として、私の頭の
中で、万葉歌人の柿本人
麻呂、「櫻花物語」の集式部、
「徒然草」の兼好法師、「與
の細道」の松尾芭翁、「香齋
は猫である」の夏目漱石など
が浮かび上ります。しかし、
私自身の好みと客觀的評
価から、日本の最大の文
学者は松尾芭翁であると思
います。

芭翁は、生涯におよそ
千句の俳句を作りました。
私の好きな句を並べてみ
ます。

「秋深し曉は何をする人
ぞ」「野ざらしを心に風のし
む身かな」「山路來て何やらゆかし

芭翁は、生涯におよそ
千句の俳句を作りました。
私の好きな句を並べてみ
ます。

「秋深し曉は何をする人
ぞ」「野ざらしを心に風のし
む身かな」「山路來て何やらゆかし

芭翁は、生涯におよそ
千句の俳句を作りました。
私の好きな句を並べてみ
ます。

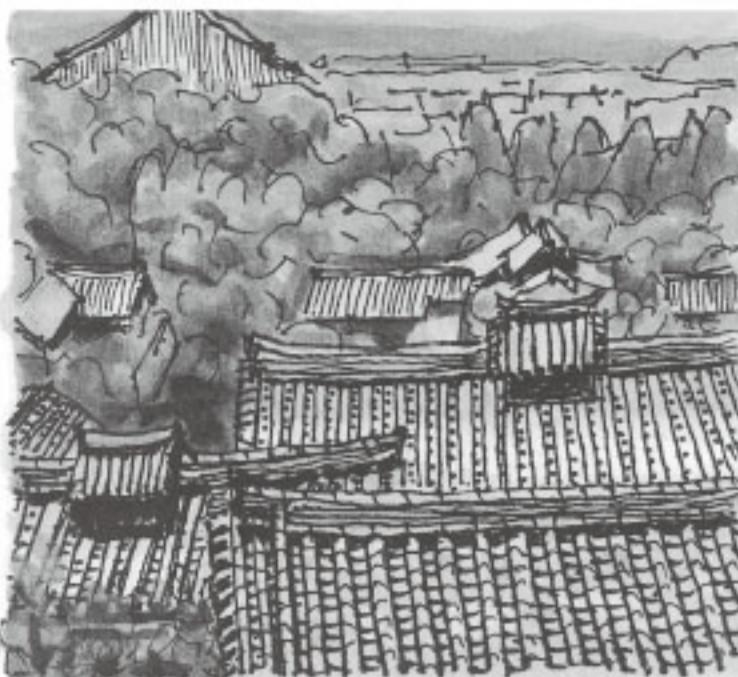
「秋深し曉は何をする人
ぞ」「野ざらしを心に風のし
む身かな」「山路來て何やらゆかし

芭翁は、生涯におよそ
千句の俳句を作りました。
私の好きな句を並べてみ
ます。

芭翁は、生涯におよそ
千句の俳句を作りました。
私の好きな句を並べてみ
ます。

絵手紙 第二集

二月堂 大和眺みし 青葉風



二月堂から眺めた大仏殿 (油彩50号)

東大寺二月堂の、お水取りの舞舞台から眺めた情景は、実に見事です。眼下に広がる開運施設も風格があり、本葺瓦の經年変化による色むらの味わいに心酔かれました。左手奥には大仏殿、右手には古都大和、彼方には生駒山麓が横たわります。描き始めた頃の新芽の季節から若葉、青葉と交わり、陽射しの強い季節の情景となりました。初めての五十号作品でしたが、二月堂の雰囲気から古都奈良の街並を一望した、雄大な作品を描き終えることが出来て、ホッと一息。

わたくしの 好奇心

絵文 横山 善久
小林 玲子

横山 善久

昭和十一年碧南市で生まれる。
丸栄陶業株式会社代表取締役、
碧南商工会議所会頭。

愛知県陶器瓦工業組合理事長、
丸栄陶業株式会社取締役会長を経て相談役に。
平成十三年顧客褒章受賞。

平成二十一年旭日小綬章受賞。
京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・
洋画コース大学院修了課程修了。

平成十九年六月碧南市藤井達吉現代美術館にて
独立美術展 入選二回

岡崎信金資料館にて第二回個展開催
初の作品展開催。社名を栄四郎瓦株式会社に変更。

ご清様にお越しのことをよろこび申し上げます。
すばらしい御絵手紙忝なく拝受致しました。
二月堂のお水取りは下から眺めましたが、
あの高い回廊からの大和國原は、はるけれど麗わしいものでございましょうね。
御絵の毫のなんという美しさ。
卒業制作のテーマに瓦を選ばれましたことはまことにすばしく、御大の個性を際立たせるものと存じます。歴史の時空を纏い、深々と静まる毫の波と遙かな山並み。構図のすばらしさは、ダイナミズムと繊細さが融け合つて見事です。日本人の心のふるさとが形になりました。

敬具

小林玲子

碧南市に育つ。
共著「西尾の民話」

童話「サケの子ピッチ」
隨筆「海辺のそよ風」

(中経コラム「聞人帳」より)
ミュージカル脚本

「みぐりちゃんのおうち」
童話集「タアタとバアバのたんけんたい」

わが家のニューフェイス



大久保優心(8才) 咲心(3才) 名古屋市港区

り
典
文大
久
保
実
穂

1886年創業。地域とともに130年。



クリエイティブ



デジタル



空間



印刷



マーケティング



経営コンサル

半田中央印刷のトータルソリューション

印刷の枠を越え、総合的な「価値」をご提供します。

総合印刷物(PR・SP・IR)の企画・プランニング・デザイン・印刷・加工
Q・VI・WEBコンテンツ・動画コンテンツ・撮影・イラストレーション・デジタルアーカイブ等の企画・制作**PTC GROUP****半田中央印刷株式会社**〒475-0032 愛知県半田市溝千町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (H) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>毎日新聞めぐりのお供にどうぞ♪
新規紙はじめ、私達
よりの関連書籍を販売
しています。お電話にて
お問い合わせください。

愛とMy Family



赤井花帆(4才) 玲心(3才) 武豊町



コスモス

「見る楽しみ」「選ぶ楽しみ」「食べる楽しみ」を
テーマに地元食材を取り入れた
料理をブッフェ形式で



朝食 6:00~10:00(最終入場 9:30)

大人 ¥2,300 小学生 ¥1,300
幼児(4歳以上) ¥800

ランチ 11:00~14:00(最終入場 13:00)

大人 ¥2,300 シニア(65歳以上) ¥2,000
小学生 ¥1,500 幼児(4歳以上) ¥1,000

※団体様でのご予約承ります。

※ランチブッフェは最大で90分のご利用となります。

お問い合わせ: 0569-38-1114



中部国際空港 セントレアホテル

〒479-0881 常滑市セントレア一丁目1番地
Phone.0569-38-1111 Fax.0569-38-1110
<http://www.centrailhotel.jp/>
E-Mail info@centrailhotel.jp

中部国際空港セントレアホテルへは
名鉄空港特急「ニースカイ」をご利用ください。
「ニースカイ」は名古屋・岐阜・犬山方面から直通駅

